

Cisco Intersight Infrastructure Firmware、 Release 4.2 のリリース ノート

初版：2022 年 2 月 15 日

最終更新：2023 年 4 月 18 日

概要

はじめに

Cisco Intersight インフラストラクチャ サービス (IIS) には、物理および仮想インフラストラクチャの合理的な展開、モニタリング、管理、サポートのための機能が含まれます。IIS は、Cisco Unified Computing System™ (UCS) サーバー、HyperFlex™ ハイパーコンバージドインフラストラクチャ (HCI)、およびサードパーティデバイスをサポートします。加えて、IIS は、インフラストラクチャの健全性とステータスをグローバルに可視化するとともに、以下の高度な管理およびサポート機能を提供します。

- 問題発生時に手動操作なしでテレメトリ データを分析できます。
- サービス リクエスト (SR) と返品許可 (RMA) の処理を自動的に開始します。

Intersight Managed Mode (IMM) は、Redfish ベースの標準モデルを通じて UCS ファブリック インターコネクト システムを管理する新しい IIS アーキテクチャです。IMM は、UCS システムの機能と Intersight のクラウドベースの柔軟性を統合し、スタンドアロンおよびファブリック インターコネクト接続システムの管理エクスペリエンスを統合します。

リリース ノートについて

このドキュメントには、以下のコンポーネントに関する新機能、解決済みの問題、未解決の問題および回避策の情報が記載されています

- FI カーネルおよびシステム
- シャーシ IOM および IFM I/O モジュール

このマニュアルには、次の内容も含まれています。

- マニュアルが初版発行された後に更新された情報。
- このリリースに関連付けられているブレード、ラック、モジュラ サーバやその他の Cisco Unified Computing System (UCS) コンポーネントに関連するファームウェアおよび BIOS

マニュアルの変更履歴

次の表は、このマニュアルのオンライン改訂履歴を示したものです。

改訂日	説明
2023年5月17日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(3e) のリリース ノートを作成しました。
2023年3月27日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(3d) のリリース ノートを作成しました。
2023年3月16日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリースごとにサポートされるハードウェア情報を含むようにリリース ノートを更新しました。
2023年1月20日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(2a) のリリース ノートを更新しました。
2023年1月12日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(3c) のリリース ノートを作成しました。
2023年1月10日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(3b) のリリース ノートを更新しました。
2022年8月4日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(2b) のリリース ノートを作成しました。
2022年2月15日	Intersight インフラストラクチャファームウェアリリース 4.2(1) のリリース ノートを作成しました。

このリリースの新機能

インフラ ファームウェア リリースの新しいハードウェア機能

4.2(3c) の新しいハードウェア サポート

Intersight 管理モードでの次の IOM のサポート：

- UCS-IOM-2304
- UCS-IOM-2304V2



(注) 上記の 2 つの IOM は、Cisco UCS 6500 シリーズ ファブリック インターコネクタでのみサポートされ、CMC ファームウェア バージョン 4.2(2.30) 以降が必要です。

詳細については、[Intersight 管理モードのサポート対象ハードウェア](#)を参照してください。

New Hardware Support in 4.2(3b)



Note Cisco UCS X210c M7 Compute Node requires Cisco IMC Firmware Version 5.1(0.230096) and Cisco Intersight Infrastructure Firmware version 4.2(3b) or above.

For more information, see [Supported Hardware for Intersight Managed Mode](#).

4.2(2b) の新しいハードウェア サポート

次のサポートが追加されました。

- Cisco UCS-FI-6536 ファブリック インターコネクットのサポート
- Cisco UCSX-I-9108-100G インテリジェント ファブリック モジュール (IFM) のサポート
- Cisco UCSX-440P PCIe ノードのサポート

詳細については、[Intersight 管理モードのサポート対象ハードウェア](#)を参照してください。

4.2(1e) の新しいハードウェア サポート

Cisco UCS X9508 シャーシ

Cisco UCS X シリーズ モジュラシステムは、適応力の高い Cisco UCS X9508 シャーシを備えており、将来の変化にも対応できます。ミッドプレーンのない設計となっているため、X9508 シャーシの I/O 接続には、シャーシ背面の水平方向の I/O 接続モジュールと交差する、垂直方向のフロントローディング コンピューティング ノードが使用されます。ユニファイドイーサネット ファブリックは、Cisco UCS 9108 インテリジェント ファブリック モジュールに付属しています。

- 7 ラック ユニット (7RU) シャーシには、前面に 8 個のフレキシブルスロットがあります。これらは、コンピューティング ノードの組み合わせと、GPU アクセラレータ、ディスク ストレージ、不揮発性メモリなどの将来の I/O リソースのプールを収容できます。
- シャーシをアップストリームの Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネク트에 接続するシャーシ上部の 2 つの Cisco UCS 9108 インテリジェント ファブリック モジュール (IFM)。各 IFM 機能：
 - コンピューティング ノードあたり最大 100 Gbps のユニファイド ファブリック 接続
 - 8 個の 25 Gbps SFP28 アップリンク ポート。
- 6 台の 2800 W 電源装置 (PSU) が、N、N + 1、および N + N 冗長性を備えたシャーシに 54V の電力を供給します。
- 効率的な 4x100mm 二重反転ファンにより、業界トップクラスのエアフローと電力効率を実現します。

New Hardware Support in 4.1(2b)

Support for UCS-IOM-2408 Input/Output module in Intersight Managed Mode.

For more information, see [Supported Hardware for Intersight Managed Mode](#).

クロスバージョンファームウェアサポート

ドメイン内の IMM サーバーファームウェアは、特定の IMM インフラストラクチャファームウェアバージョンでサポートされます。

次の表に、サポートされているサーバーファームウェアとインフラストラクチャファームウェアのバージョンを示します。

X シリーズ サーバー ファームウェアバージョン	インフラストラクチャファームウェアバージョン		
	4.2(1)	4.2(2)	4.2(3)
5.1(0)	いいえ	いいえ	はい
5.0 (4)	はい	はい	はい
5.0(2)	はい	はい	はい
5.0(1)	はい	はい	はい

C シリーズ サーバー ファームウェアバージョン	インフラストラクチャファームウェアバージョン		
	4.2(1)	4.2(2)	4.2(3)
4.3(1)	いいえ	いいえ	はい
4.2(3)	はい	はい	はい
4.2(2)	はい	はい	はい
4.2(1)	はい	はい	はい
4.1(3)	はい	はい	はい

B シリーズ サーバー ファームウェアバージョン	インフラストラクチャファームウェアバージョン		
	4.2(1)	4.2(2)	4.2(3)
5.1(0)	いいえ	いいえ	はい
4.2(3)	はい	はい	はい
4.2(2)	はい	はい	はい
4.2(1)	はい	はい	はい
4.1(3)	はい	はい	はい

セキュリティ修正

リリース 4.1(1n) のセキュリティ修正

次のセキュリティ上の問題が解決されます。

欠陥 ID — CSCwb74513

Cisco FXOS ソフトウェアおよび Cisco NX-OS ソフトウェアの Cisco Discovery Protocol 機能の脆弱性により、近接する攻撃者が、ルート権限で任意のコードを実行するか、該当のデバイスにサービス妨害 (DoS) の状態を引き起こす可能性があります。リリース 4.1(n) は、この脆弱性に対処します。

不具合

このリリースで未解決のバグおよび解決済みのバグには、[Cisco バグ検索ツール](#) を使用してアクセスできます。この Web ベース ツールから、この製品やその他のシスコ ハードウェアおよびソフトウェア製品でのバグと脆弱性に関する最新情報を保守する Cisco バグ追跡システムにアクセスできます。



-
- (注) Cisco Bug Search Tool にログインしてこのツールを使用するには、Cisco.com アカウントが必要です。アカウントがない場合は、[アカウントを登録](#)できます。
-

Cisco Bug Search Tool の詳細については、[Bug Search Tool \(BST\) ヘルプ](#)および[FAQ](#)を参照してください。

解決済みの不具合



-
- (注) Intersight の欠陥は、ファームウェアとは別に追跡されます。Intersight の未解決の欠陥については、「[Intersight の未解決の警告](#)」を参照してください。
-

リリース 4.2(3e) で解決済みの問題

次の表は、リリース 4.2(3e) で解決された不具合を一覧表示します。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwe07549	<p>CHAP 認証が有効になっている Intersight 管理モードのサーバでは、iSCSI LUN 検出が失敗します。</p> <p>X210c M6 コンピューティング ノードは、チャレンジハンドシェイク認証プロトコル (CHAP) 認証が有効になっている iSCSI プロファイルで構成されました。サーバを再起動すると、BIOS で iSCSI ブート LUN が見つかりません。iSCSI 構成の BIOS からの Intersight の iSCSI ブートプロファイルで CHAP が有効になっているにもかかわらず、認証モードが none として表示されることが検出されます。</p>	4.2(11)

リリース 4.2(3d) の解決済みの不具合

次の表は、リリース 4.2(3d) で解決された不具合を一覧表示します。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd41247	<p>Cisco UCS 6400 FI を搭載したセットアップでは、ハングした Sameproxy の複数のインスタンスが観察されます。また、Sameproxy の状態が悪いことに関連するその他の障害がドメインにある可能性もあります。</p>	4.2(3c)
CSCwe24011	<p>Cisco UCS 6536 FI および Cisco UCS 6400 FI シリーズ FI では、通常の操作中に予期しない再起動が発生します。</p>	4.2(3c)
CSCwd90187	<p>Cisco UCS 6536 FI を搭載したセットアップでは、次の条件下で QSFP-100G-DR/FR-S を QSFP-100G-CUxM に置き換えると、ポートが リンク未接続 ステータスになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 100G インターフェイス。 <ul style="list-style-type: none"> • インターフェイスは FEC Auto で設定されています • インターフェイスは QSFP-100G-FR、QSFP-100G-DR トランシーバを使用していました。インターフェイスは QSFP-100G-CUxM を使用するようになりました。CUxM は CU1M、CU2M などを指します。 	4.2(3c)
CSCwe28336	<p>MTS バッファが vsh.bin プロセスでスタックします。</p> <p>制限に達するとプロセスがクラッシュし、他の機能に影響を与えます。</p>	4.2(3c)
CSCwe28336	<p>Cisco UCS 6400 FI を備えたセットアップでは、マルチキャストストリームはサーバによって受け入れられません。</p>	4.2(3c)

リリース 4.2 (3c) 内の解決済みの不具合

次の表は、リリース 4.2(3c) で解決された不具合をリストします。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd86029	インフラストラクチャファームウェアを 4.2(1d) から 4.2(2a)、4.2(3b)、または 4.2(3c) リリースにアップグレードしているときに、2つの IFM アップグレードの間にタイムラグがある場合、このタイムインターバルにいずれかの IFM で Redfish クエリが失敗します。IMM での接続障害として表示される場合があります。	4.2(2c)

リリース 4.2 (3b) の解決済みの問題

次の表は、リリース 4.2(3b) で解決された不具合をリストします。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd37309	UCS X シリーズ シャーシで、ファン UCSX-9508-FAN を使用すると、「[シャーシファンモジュール]に重大な速度しきい値状態があります」というアラートが表示されます。この動作は、複数のシャーシで発生する場合があります、異なるファンモジュールで発生する場合があります。障害が発生し、独自にクリアされます。この問題は、ファン速度が LOW の状態で検出されます。障害が解決せず、自然に解決しない場合は、ファンを物理的に取り付け直します。再装着後も障害が続く場合は、別の問題が発生している可能性があるため、Cisco TAC に連絡してください。	4.2(11)

リリース 4.2(2d) で解決済みの問題

次の表は、リリース 4.2(2d) で解決された不具合をリストします。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd37309	UCS X シリーズ シャーシで、ファン UCSX-9508-FAN を使用すると、「[シャーシファン モジュール]に重大な速度しきい値状態があります」というアラートが表示されます。この動作は、複数のシャーシで発生する場合があります、異なるファン モジュールで発生する場合があります。障害が発生し、独自にクリアされます。この問題は、ファン速度がLOWの状態 で検出されます。障害が解決せず、自然に解決しない場合は、ファンを物理的に取り付け直します。再装着後も障害が続く場合は、別の問題が発生している可能性があるため、Cisco TAC に連絡してください。	4.2(11)

リリース 4.2(1n) で解決済みの問題

次の表は、リリース 4.2(1n) で解決済みの問題のリストです。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwb90201	Cisco UCS 6500 シリーズ FI では、アップリンク ポートの追加メンバーポートがブロードキャストトラフィックの転送に失敗します。これは、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) メンバーポートがアップリンクポートに正しく含まれていないために発生します。	4.2(11)
CSCwb00770	Cisco UCS 6500 シリーズ FI では、ファブリックポートがUDPポート範囲 100~150 のユニキャストトラフィックを転送できません。	4.2(11)
CSCwb43580	QSFP-40G-LR4 ステータスの FI スイッチリンクは、リモートエンドポートをシャットダウンするかケーブルを抜いた後でも、1分以上アップとして表示されます。FI スイッチは、Cisco 1400 シリーズ アダプタを使用して C シリーズ サーバーに接続されています。	4.2(11)
CSCwb07198	Cisco UCS 6500 シリーズ FI の場合、アプライアンスサーバーから FI に 1 つの igmp join のみを送信する場合でも、Syslog に IGMP 16k 制限通知が表示されます。	4.2(11)

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCwb73274	ファブリック フェールオーバー中の IP マルチキャスト トラフィックでは、100秒を超えるコンバージェンス時間が観察されます。これは、FI 上の 3K VLAN およびスヌープが有効になっている N9K がすべての VLAN で構成されている場合に観察されます。異なる VLAN の N9K に 5つを超えるクエリア構成されています。3つのグループは、異なるホスト/サーバーからの異なる VLAN に参加しています。	4.2(11)
CSCwb78536	FI の再起動後、ファイバーチャネルストレージポートが Init でスタックします。ポートは 32G Netapp に接続されており、ファブリック インターコネクト B のリブート前に FCoE トラフィックがポートに送信されます。	4.2(11)
CSCwb64509	FC アップリンク ポートとブレイクアウト インターフェイスを有効にした後に FI を再起動すると、snmpd_log コアが影響を受けます。	4.2(11)

リリース 4.2(1n) で解決済みの問題

次の表は、リリース 4.2(11) で解決済みの不具合のリストです。

不具合 ID	説明	影響を受ける最初のバンドル
CSCvz92352	インテリジェント ファブリック管理 (IFM) で、シャーシの電源ユニットの障害が原因で再起動ループが発生します。障害のある PSU は、PSU LED が緑色に点灯していないことで示されます。	4.2 (2a)

未解決の不具合



(注) Intersight の欠陥は、ファームウェアとは別に追跡されます。Intersight の未解決の欠陥については、「[Intersight の未解決の警告](#)」を参照してください。

リリース 4.2(3c) の未解決の問題

リリース 4.2(3c) では、次の問題が未解決です。

不具合 ID	症状	回避策	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd52370	<p>UCS-IOM-2408 を使用して UCSB-5108-AC2 シャーシのファブリック インターコネクットのファームウェアをアップグレードすると、Intersight への接続が失われます。</p> <p>ポートフラップにより、CMC は シャーシ情報を設定解除し、有用な情報が /var/isconfig から削除されます。シャーシ情報が再度設定されると、CMCDC はデータが再度読み込まれた後に /var/isconfig ファイルを再読み取りしない場合があります、CMC が Intersight から切断されます。</p>	CMCDC を再起動します (/etc/init.d/dc 再起動)	4.2(2c)

リリース 4.2(2a) で未解決の問題

リリース 4.2(2a) では、次の問題が未解決です。

不具合 ID	症状	回避策	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd82136	<p>Cisco VIC 1457/1455/1467 を使用して Cisco UCS C シリーズ サーバーに接続された Cisco UCS 6400 シリーズ FI を備えたセットアップでは、リンクフラップの後、FI のポートが errDisabledExcessportIn 理由でエラー ディセーブル状態になることがあります。</p>	<p>Cisco UCS C シリーズ サーバーに接続されている FI ポートをフラップします。</p>	4.2 (2a)

不具合 ID	症状	回避策	影響を受ける最初のバンドル
CSCwd90187	<p>Cisco UCS 6536 FI を搭載したセットアップでは、次の条件下で QSFP-100G-DR/FR-S を QSFP-100G-CUxM に置き換えると、ポートがリンク未接続ステータスになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1 つの 100G インターフェイス。 • インターフェイスは FEC Auto で設定されています • インターフェイスは QSFP-100G-FR、QSFP-100G-DR トランシーバを使用していました <p>インターフェイスは QSFP-100G-CUxM を使用するようになりました。CUxM は CU1M、CU2M などを指します。</p>	<p>この問題には 2 つの回避策があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. FEC 機能のない光または AOC トランシーバを挿入します。たとえば、インターフェイス上の QSFP-100G-SR または QSFP-100G-AOC3M。 2. ステップ 1 のトランシーバを取り外します。 3. パッシブ銅ケーブルを挿入し直します。 • FI を再起動します。 	4.2 (2a)

関連資料

リリースノート

- [Cisco Intersight サーバー ファームウェアのリリース ノート](#)

- [Intersight マネージド モード ファームウェアのリリース バンドルのコンテンツ](#)

『Hardware Installation Guides』

- [Cisco UCS X210c M6 コンピューティングノードのインストールおよびサービスノート](#)
- [Cisco UCS X9508 サーバシャーシインストールレーション ガイド](#)

Cisco Intersight のリソース

- [Advisories](#)
- Cisco TAC およびプロアクティブ RMA との統合 https://intersight.com/help/saas/features/cisco_intersight/settings#integration_with_cisco_tachttps://intersight.com/help/saas/features/cisco_intersight/settings#proactive_support_enabled_through_intersight
- [契約ステータス](#)
- [ハードウェア互換性リスト \(HCL\) との準拠](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。